



「てつがくカフェ (café philosophique)」とは、わたしたちが通常当たり前だと思っている事柄からいったん距離をとり、「そもそもそれって何なのか」といった遡行的な問いを投げかけ、ゆっくりとお茶を飲みながら、他の参加者との〈対話〉をとおして自分自身の考えを遅くすることの難しさや楽しさを経験するものです。1990年代に、フランスの哲学者マルク・ソーテが、パリのバステュー広場にあるカフェで始めたのがきっかけとされています。

てつがくカフェ 「医療とケアを問い直す」

人の生老病死に深く関わる医療やケアの現場は、〈てつがく〉的な問いに溢れています。てつがくカフェ「医療とケアを問い直す」では、福井大学地域貢献事業の一環として、2016年より、医療やケアに纏わるテーマを、哲学的対話実践形式で問い直す場を拓いています。

「私はあなたのことを信頼しているよ」と言う場合、わたしたちはこの“信頼”という言葉をどのような意味で使っているのでしょうか。おどけて言ってみるときもあれば、真剣に相手に訴えかけるように使っているときもあります。そして人は、相手に対する“信頼”が強ければ強いほど、それを裏切られたときの虚無感、あるいは怒りも強くなるものです。

では、医療者と患者との間においてはどうか。この関係性を成り立たせるうえでの重要な因子のひとつが、まさにこの“信頼”であるようにも思われます。しかし、この“信頼”を構築するには医療技術プラス α の何かがさらに必要な気がします。はたして“信頼”とは、どのような条件のもとで成立するものなのでしょうか。医療とケアを問い直す「てつがくカフェ」、今回は、医療とケアの枠を超えて共通する人と人との交わりに深く触れていきます。

福井大学医学部医学科4年 渡邊 ゆうき

- ◆ 実施日:2019年1月20日(日)
- ◆ 時間:13時00分~15時30分
- ◆ 場所:大学連携センターFスクエア (福井駅東口アオッサ7階)

参加無料、事前申し込み不要、どなたでもご参加頂けます (途中退出も可能)

ファシリテータ:西村高宏(福井大学医学部 医学教育・倫理学分野)
ファシリテーション・グラフィック:近田真美子(福井医療大学 保健医療学部)
主催:てつがくカフェ「医療とケアを問い直す」(福井大学地域貢献事業)
共催:福井大学医学部附属教育支援センター、てつがくカフェ@ふくmedi、
問い合わせ先:ニシムラ(tanishi@u-fukui.ac.jp)



テーマ
「医療における〈信頼〉とは何か？」